



MBCテレビ毎月第1、第2金曜日の
16時35分頃放送中

国保で HOT情報

鹿児島県薬剤師会 常務理事の
江口清唯先生にお話を伺い、
10月6日と13日にお伝えしました。



鹿児島県薬剤師会
常務理事の江口清唯先生

薬のスペシャリストに聞きました
「薬剤師をもっと身近に！」
「教えて！ジェネリック医薬品！」

「薬に関するスペシャリスト」

「かかりつけ薬剤師」とは、薬による治療のことはもちろん、健康や介護に関することなどに豊富な知識と経験をもち、患者さんや生活者のニーズに沿った相談に応じることができる薬剤師のことです。

患者さんが普段飲んでいるお薬を全て把握して、薬の重複や飲み合わせのほか、薬の効果や副作用はないかなどを、薬剤師の観点から継続的に確認します。

また、それだけではなく、市販薬との飲み合わせ・サプリメントなどとの相性、他にも介護の問題などといった、あらゆる相談にも応じています。

症状によっては、病院へかかる前に市販薬などで対応が可能な場合がありますので、まず一度、薬

剤師に相談してみてください。

もちろん内容によっては、より詳しく相談できる病院や窓口への紹介も行っているので、みなさんの健康に関するお悩みを、「より気軽に」相談してほしいですね。



薬剤師さんに相談する前に、日頃から心がけるポイント

まずは普段からお薬手帳を通して自分の体質や飲んでいる薬をしっかりと把握することが重要です。些細なことでも非常に重要な情報が隠れている場合がありますので、お薬手帳は一冊にまとめて、毎回お持ち頂くようにご提案しております。スマホにある、「電子お薬手帳」というアプリなどを活用するのも良いかと思います。



かかりつけ薬剤師のさがしかた

例えば、薬が必要になって薬局を訪ねた時、対応してもらった薬剤師と顔見知りになっていろいろと質問したり、地域で開催されている健康相談やお薬相談会などに参加して探してみたりするのもいいかもしれませんね。

それでもなかなか難しいと思われる方は、まずはかかりつけ薬局として、いつも利用する薬局を一つにしておくと、それだけでも薬について相談しやすいかもしれません。

難しいイメージを持たず、そのくらい気軽に捉えていただき、是非私たち、「あなたの街の薬剤師」を、頼って頂ければと思います！



ジェネリック医薬品について

ジェネリック医薬品とは先発医薬品と同じ有効成分を使用しており、品質や安全性が同等なお薬ですが、先発医薬品に比べて、価格が抑えられていることが特徴です。ジェネリック医薬品の価格が安いのは、品質が劣るからではなく、先発医薬品に比べて研究開発費がかからないからです。



ジェネリック医薬品を使いたい場合は？

ジェネリック医薬品をご希望の場合には、実際にお薬をもらう薬局でお尋ねください。

医薬品によっては、まだジェネリック医薬品が販売されていないものもあります。もちろん、今後開発される可能性もありますので、ご自身の薬で気になった点は、お気軽に薬局や薬剤師にご相談ください。

ジェネリック医薬品の使用は、医療の質を落とさずに、医療費を削減する方法の一つとして推奨されています。

日本は超高齢化社会を迎え、増え続ける医療費が保険財政を圧迫しているなかで、ジェネリック医薬品は、医療費はもちろん、患者さんにとっても、自己負担を減らすことができますので、まさに一石二鳥の取り組みと言えます。

安心して使用していただけることはもちろんですが、少しでも不安がありましたら、薬剤師に相談して選んだり、変更したりすることも出来ます。

お薬に関するご相談は
かかりつけの薬局・薬剤師に
お声掛けください

